

第1回阿賀野川水系流域懇談会議事における 補足説明について

- ①基本方針の計画規模の考え方について
- ②地球温暖化の影響に対する検討状況について
- ③総合的な水量の安定供給について

①基本方針の計画規模の考え方について

○他河川における計画規模の事例

1/100 釧路川、岩木川、鳴瀬川、米代川、関川、千代川など

1/150 石狩川、北上川、阿武隈川、雄物川、最上川、信濃川など

○阿賀野川の計画規模

河川名	基準点	流域面積 (km ²)	計画規模	備 考
阿賀川	山科	2,741.9	1/100	
只見川	片門	2,765.0	1/100	主要地点へ変更
阿賀野川	馬下	6,997.0	1/150	

②地球温暖化の影響に対する検討状況について

「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について(H20.6.19答申)」

＜答申の概要及びポイント＞

100年後に1.1～1.3倍に増える降水量に対し、
河川での対応に加え、流域での対応を重層的に行うなど、
これまでの治水対策を拡充し、
水災害適応型社会の構築を目指すこと。
適応策のあり方について答申がなされた。

③総合的な流量の安定供給についての考え方

流量(m³/s)

阿賀野川頭首工上流地点の湧水流量

